

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2014年7月号 通巻67号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2014

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！ tokyotanuki.jp

雨の日は暇

タヌキたちは雨の日は外出しません



(左)寝ている野生のタヌキなんて撮影できませんので、これは井の頭自然文化園で撮ったもの。雨の日はこんな感じなのでしょう。2007年撮影。
(右)南関東の降雨状況をほぼリアルタイムで表示する「東京アメッシュ」。タヌキ調査でもコウモリ調査でも必須のWEBサービスです。

東京タヌキ探検隊！には年間約500件の目撃情報が届きます。1日当たり1.4件ほどになるのですが、毎日毎日同じペースでメールが来るわけではありません。雨の日にはメールは来ないものです。

雨中行動例はほんのわずか

雨の日に目撃情報が来ない理由、それは簡単なことで、タヌキもハクビシンも(おそらくアライグマなども)雨の日には活動しないからです。その実際の観察の様子は東京タヌキタイムズ2009年8月号に書いてありますのでご覧ください。

タヌキなどが雨の日には行動しないことは東京タヌキ探検隊！のデータベースからも明らかです。目撃情報数は3000件を超えています(東京都23区内は2400件以上)が、雨の中での目撃例はタヌキ2件、ハクビシン4件しかありません(いずれも東京都23区内。ただし小雨2件を含みます)。目撃時の天気を完全に把握できているわけではありませんが、降

雨が疑われる場合はなるべく当時の様子を聞くようにしています。その結果がこの数字、23区に限ったとしてもたったの0.25%なのです！タヌキたちの雨の日の行動は統計的にも証明されているのです。

タヌキが出歩かないなら人間に目撃されることもなく、私にメールが届くこともありません。ですので私にとっても雨の日は一休みという感じになります。

アブラコウモリの場合は

タヌキが雨の日には活動しないのならばアブラコウモリも同じだろう、と思ったら大間違いです。どうやらアブラコウモリは雨の中でも飛んでいるらしいのです。私自身、雨の日にはアブラコウモリを発見したのですが、そのコウモリはなんと橋の下だけを飛んでいました！なるほどね。雨の日とそうでない日で活動がどう違うのかは今後の重要な観察項目になったので、コウモリ調査は天気に関係なくやらねばなりません。

タヌキ調査は雨の日は休めますが、コウモリはそうはいかないというのはちょっと大変なことです。

雨というと、ゲリラ豪雨は調査にはやっかいです。そんな時に役に立つのが上図で紹介した「東京アメッシュ」です(<http://tokyo-ame.jwa.or.jp>)。東京を中心とした南関東の雨雲の様子を5分間隔で更新しており、今どこでどれだけ強く雨が降っているかがわかります。豪雨に巻き込まれたとしても、どの程度の範囲で降り、どの程度継続するかが慣れればわかるようになってくるでしょう。なお、全国の降雨状況は「レーダー・ナウキャスト」(<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>)で見ることができます。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>